

## 交通災害共済見舞金の請求をお忘れなく

市では、交通災害共済加入者が交通事故に遭った場合に、入院・通院日数などに応じて見舞金を給付しています。

事故の翌日から2年以内(後遺障害は3年以内)であれば見舞金の請求ができます。自転車で転んでけがをし、1日のみ通院された方なども、まずは防災安全課にご相談ください。

▶**見舞金の種類** 死亡見舞金、後遺障害見舞金、医療見舞金

### 交通災害共済に加入しましょう

市では年間を通して加入を受け付けています。

▶**費用** 一人年額500円(10月以降の加入250円)

▶**受付場所** 同課

▶**問い合わせ** 同課交通担当  
(内線284)



## 行田市デマンドタクシー事業の指定乗降場所を募集します

令和2年度の「行田市デマンドタクシー」指定乗降場所の更新に伴い、新たに指定乗降場所の登録を希望する市内の店舗・事業所などを募集します。なお、指定乗降場所に登録されるのは、令和2年4月1日からです。

▶**募集分類** A医療機関、B鍼灸・接骨・整骨院、C福祉施設(高齢者)、D福祉施設(障害者)、E商業施設・店舗など、F金融機関、Lその他

▶**対象** 市内の店舗・事業所などを所有している方または代表者

▶**申し込み** 地域づくり支援課で配布している「指定乗降場所登録申請書」(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を記入の上、12月27日(金)までに直接同課へ提出してください。

▶**問い合わせ** 同課くらし安心担当(内線252)



▼問い合わせ 人権推進課人権同和対策担当(内線221)



岡島 伸行氏



内田 敬氏



原口 利巴氏

私たちの基本的な人権の擁護や自由人権思想の普及のために活動している人権擁護委員(原口利巴氏(長野)、内田敬氏(若小玉)、岡島伸行氏(埼玉)が新たに委嘱されました。  
人権擁護委員の任期は3年で、10月1日付けで法務大臣から委嘱を受けました。

人権擁護委員に委嘱されました

## 行田市人権教育合同学習講演会 学習障害は生涯学習!そこから学んだ大切なこと

落語家の柳家花緑さんを講師に迎え、学習障害について分かりやすくお話しします。また講演後、落語の披露も行います。

現在、さまざまな人権課題が発生しています。多様性・共生社会の実現には一人一人の個性を認め合うことやさまざまな人権課題への理解が求められています。ぜひこの機会に、人権について考えてみませんか。



柳家 花緑さん

▶**日時** 12月5日(木)午後6時～7時30分(午後5時30分開場)  
▶**場所** 産業文化会館ホール  
▶**対象** 市内在住・在勤の方  
▶**定員** 1,000人(先着順) ※11月12日(火)～12月4日(水)に市役所案内および産業文化会館で入場整理券を配布(1人2枚まで)

▶**入場料** 無料  
▶**主催** 行田市、行田市教育委員会、行田市人権教育推進協議会、行田市PTA連合会、熊谷・秩父人権啓発活動ネットワーク協議会、熊谷人権擁護委員協議会行田部会  
▶**注意** 駐車台数に限りがあります。(駐車場:産業文化会館、市役所、行田地方庁舎、忍・行田公民館)

▶**その他**  
・手話通訳を行います。  
・市内の小・中学生が描いた人権ポスター展を同時に開催します。  
・講演の録音や動画撮影などは禁止です。  
・落語を披露する都合上、未就学児の入場はお断りします。  
・講演会参加中のひととき保育(2歳以上の未就学児が対象・無料)を希望される方は、お申し出ください。

▶**問い合わせ** ひとつくり支援課人権教育推進担当☎556-8319

## ご協力ください 人権意識調査

市では、市民の皆さんが人権について普段どのように考えているか把握し、今後の人権施策の基礎資料とするため、「人権意識調査」を実施します。

この調査は、「女性の権利」、「子どもの権利」、「高齢者の権利」などのさまざまな人権に関してお聞きするもので、無記名で行い、回答は統計的に処理します。なお、お答えいただいた方は特定されませんので、ご迷惑をお掛けすることはありません。

お手元に調査票が届いた際には、ご協力をお願いします。

▶**調査時期** 11月上旬  
▶**調査対象** 住民基本台帳(令和元年10月1日現在)から無作為に選ばれた市内在住の満18歳以上の方1,000人

▶**その他** 返信用封筒を同封していますので、記入が終わりましたら、郵送してください。

▶**問い合わせ** 人権推進課人権同和対策担当(内線221)



## 宝くじ助成を活用して地域のコミュニティーづくり

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、地域住民の自主的なコミュニティー活動の促進と自治意識の向上を目的に、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティー助成事業を実施しています。

今年度、この宝くじの助成を受けて、富士山東自治会(埼玉地区)が次のような備品の整備を行いました。

### 富士山東自治会

富士山東自治会(岩崎金男会長)では、地域コミュニティーの拠点である自治会集会所の備品(エアコン、冷蔵庫、テレビなど)を購入しました。

新たに備品が整備された集会所を多世代の交流の場として活用し、活発な自治会活動を行うことで、住みよい地域づくりを図ります。



エアコン



冷蔵庫



▶**問い合わせ** 地域づくり支援課自治振興担当(内線251)